

## 第3回 榛名地域審議会

### 総合計画前期実施計画事業に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
榛名地域福祉会館(仮称)・榛名地域図書館(仮称)建設事業	1	榛名地域福祉会館(仮称)・榛名地域図書館(仮称)の建設にあたって榛名地域の木材を使用するのか。	過日、高崎市内産材利用促進委員会の会議が行われ、公共施設の建設において市内産木材を活用するという、基本的な方針が決定されるので、積極的に活用していきたいと考えている。
観光資源の活性化事業	1	「幽玄の杜音楽会」と「新そば祭り」の開催時に、各店舗が、特色のある蕎麦料理を提供すると聞いているが、料理の内容が分からないので、パンフレット等を作成したら良いのではないのか。	「幽玄の杜音楽会」は、ジャズコンサート鑑賞と蕎麦料理をセットで前売り券を販売しており、各店舗の料理内容は概ね同じである。「新そば祭り」は、前売り券はなく、店のメニューの中からお客さんの好みにあった食事を選んでもらっている。
	2	たばこを嫌う人が多い中、観光地にお客さんが安心して入れるような、禁煙を掲げる店舗があっても良いのではないのか。	観光事業者等と相談を行い、お客さんが気持ちよく訪れ、気持ちよく帰れるような観光地にしていきたいと考えている。
	3	グリーンツーリズムの事業を行うにあたって、食品衛生法、旅館業法の問題はどのようになっているのか。	農林漁業者が管理する施設として、宿泊料等を受け取る「農林漁家民宿」や、宿泊料等を受け取らない「農林漁家民泊」がある。宿泊等の対価を受け取らなければ、食品衛生法、旅館業法の許可は必要としない。
観光産業支援事業	1	事業等のPRには、マスコミを利用するのが一番有効だと思うので、積極的に情報提供することを考えてもらいたい。	広報広聴課が月に1度開催している定例記者会見で大きな事業はPRをしている。また、市役所内にある記者クラブに「投げ込み」と言うかたちで、チラシ等を配布しPRをしている。 今後も今まで以上に、マスコミを利用したPRを行っていきたいと思う。

事業名	No.	質 疑	回 答
榛名地域観光施設整備事業	1	榛名神社へ訪れる人達の車が、渋滞している状況を見て、良かったと思う反面、早く駐車場の整備が必要と思った。榛名神社の駐車場整備が、進まない理由は何か。	<p>榛名神社の地形上、駐車場に適した広い場所が確保できない。検討委員会で、空き店舗の駐車場所有者と地元の方々で相談をしているが、なかなか進まないのが現状である。去年頃から、パワースポットとして榛名神社が有名になり、ひと月当たり今までのおよそ倍の参拝者が訪れ、土曜日、日曜日は、非常に車が渋滞している事も認識している。</p> <p>今後も、地元の方々で協議をおこない、観光客が訪れやすい観光地にしていきたいと考えている。</p> <p>榛名神社駐車場整備事業を行うにあたり、駐車場が必要という総論は賛成だが、土地を提供する各論になるとまとまらないのが難点となっている。そのへんを理解してもらい、駐車場ができるよう現在進めている。</p>
	2	榛名神社駐車場は、何台確保をしたいのか。	大型バスの駐車も含め、出来る限りの広さを確保したいと考えている。
	3	榛名神社駐車場の候補地として、旧榛名第4小学校の場所かどうか。	<p>旧榛名第4小学校地を駐車場に使用する構想はあったが、県道の拡幅工事等に高額な費用が掛かる問題や、旧榛名第4小学校地を駐車場にした場合、榛名神社との距離があるため、実際に使用してくれるかという、地元からの不安の声もあり指定地にならなかった。</p> <p>県道の拡幅や高低差の解消などに高額な費用を掛けてまで、旧榛名第4小学校地を駐車場にするメリットがあるのかという問題がある。</p>
都市型農業施設整備促進事業	1	フルーツライン沿線の箕郷町から十文字町にかけて、関東平野等が見渡せる絶景ポイントがある。この景観と観光を結びつけて施設整備等を進めると、フルーツラインの活用度が高まると思う。	<b>【要望】</b>
	2	<p>「はるなアグリフーズ」の計画を、資金面の理由で断念するのは残念に思う。どのくらいの計画を検討した結果、断念することになったのか。</p> <p>改めて立ち上げるのは難しいので、今後もアイデアを出して続けてもらいたい。</p>	生産者代表等の関係者と、「はるなアグリフーズ」の計画を、ある程度大規模に進めていたが、総事業費の2分の1である国の交付金が不採択となった。関係者と協議を行った結果、予定していた自己負担金より多く負担することは無理であり、計画の規模を縮小した場合には、効果を得ることが出来ないという理由から、断念せざる得ないという結論に至った。

事業名	No.	質 疑	回 答
下里見公民館(仮称)建設事業	1	下里見公民館(仮称)駐車場予定地を、下里見小学校の教員が駐車場に使用しているが、完成後は、公民館利用者と下里見小学校の教員が使用するのか。	下里見小学校で給食室建設工事を行っているため、新規に土地を購入した下里見公民館(仮称)駐車場予定地を、臨時的に下里見小学校職員の駐車場として使用しているが、給食室完成後、職員は従前の駐車場を使用する。
	2	下室田小学校地区の公民館は、榛名支所を使用すると言う話があったようだが、どのようになったのか。	榛名支所の4階を、公民館に使用する話があったが、給排水の設備に問題があり、検討という形で保留になっている。
	3	久留馬小学校地区の公民館の建設場所を、久留馬小学校と宮沢小学校との間で探しているという話を聞くが、事実なのか。	久留馬小学校地区の公民館建設は、事務レベルでの話し合いをしている段階のため、まだ、建設場所の検討を行っていない。
	4	前回の下里見公民館(仮称)の推進状況報告書に、学童保育所を併設すると記載されていたと思うが、今回、記載がないのはなぜか。	下里見公民館(仮称)は、公民館事業の活動の場として建設を進めている。  下里見公民館(仮称)は、当初から学童保育を併設する計画はないが、榛名地域福祉会館(仮称)に、児童館の併設を計画している。
自校方式給食拡充事業	1	榛名中学校と久留馬小学校の、自校方式給食に使用している食材の地産地消の実績状況を教えてもらいたい。純粋な地元の食材を、量的な問題で使用しづらいと聞いたことがあるが、地産地消を掲げているからには、榛名地域のためにも、より多くの地元の食材を使用してもらいたい。	健康教育課が実績的な部分を取り扱っているため、詳細は分からないが、両校とも栄養士が、学校単位で献立を作り、地産地消を計画的に行っている。
	2	榛名学校給食センター解体後の、跡地の利用方法を教えてもらいたい。	榛名給食センター解体後の跡地については、今後、地元へ還元できるような活用も含め、行政として良い活用方法を、検討していきたいと考えている。
	3	下室田小学校と下里見小学校の給食室建設事業費に、約3千万円の差があるが、理由を教えてもらいたい。	給食室建設事業費には、本体工事と付帯工事が含まれているため、建設場所の条件によって総工費に差が出る。
	4	地域審議会委員が、給食の試食ができる機会はないのか。	榛名中学校から地域審議会委員へ、給食の試食会の案内があり、本日、「連絡事項」の中で連絡をする。

事業名	No.	質 疑	回 答
上水道管網整備事業	1	美味しい水を供給してもらっているが、水道の蛇口の先に白い付着物ができるのは、どうにかならないのか。 また、個人で水質検査をすると、どの位の費用が掛かるのか。	水道の蛇口に白い付着物ができる原因については、水道局が毎月行っている水質検査では問題は発生していない。家を建築する際に使用した建築材料等による化学反応が起因していることが考えられる。 個人が業者へ水質検査の依頼をすると、一項目約5千円と、採水手数料に約5万円の経費が掛かると聞いている。

### 地域に係る事業の質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
榛名宮本町活性化事業	1	宮本町も同様に考えられると思うが、観光誘客を図るのに大切なのは、花、食事、そして車や人が流れる道だと思う。公園に花を植えたり、調理師が勉強会を開いて、名物になる美味しい食事を作ることによって、人が集まると思うが、何か計画をしている事があるのか。また、榛名町当時に1億円をかけて建設した広場を活用して、花を植えるのも良いと思うが、現在はどのような状況になっているのか。	<p>榛名の梅を利用した蕎麦や焼きそば等の料理を提供している店はあるが、今後、宮本町検討委員会のなかで、検討していきたいと思う。また、宮本町でイベントを開催する際、店舗の前にプランター花壇を設置し、景観から明るいまち並みの取り組みを考えている。</p> <p>榛名町当時、1億円事業で、各小学校区にポケット公園を建設したが、旧第4小学校区では、用地がないという理由で神楽のビデオを制作した。現在は、宮沢小学校以外は、学童クラブや大字会館等の公共用地として使用されている。</p>
	2	空き店舗対策事業とあるが、宮本町に空き店舗はどれくらいあって、今後、空き店舗をどのように活かしていくのか。	宮本町商店街に十数件の空き店舗があり、現在は、空き店舗対策として、会員でお店を持っていない編物教室が展示や販売に利用している。今後も、他のお店が出店できる環境づくりを進めたい。

## その他の質疑

質問内容	No.	質 疑	回 答
一般廃棄物榛名最終処分場について	1	耐用年数が経過した後の、環境維持については、どのような計画になっているのか教えてもらいたい。	施設の埋め立て終了後、埋立地内から発生する排水が環境基準に適合となった時点で閉鎖となる。
少子高齢化問題について	1	全国的に少子高齢化が問題になっているが、今後、市政運営をしていくうえで、高齢者と子どもたちの接点を見つけ、一緒に過ごせる空間を作ることで、高齢者は、子どもたちと接することで、生き甲斐を持つことができ、子育ての面でも利点があると思う。	<b>【意見】</b>
	2	他の行政で、高齢者と子どもたちが一緒に過ごす事業を実施している情報があれば教えてほしい。	他の行政の、実施状況は具体的に分からないが、核家族が多い現代に、高齢者と子どもたちの交流は、色々な面から両者に必要なことなので、今後のまちづくりのなかで考えていく必要があると思う。
	3	高齢になると、家から出ない人が多くなるので、誰もが集まって話ができる場所が近くにあれば良いと思う。	<b>【意見】</b>
	4	以前、家庭教育支援基盤形成事業で、お年寄り、子ども、子どもの母親と一緒に交流ができる事業を、高浜人權プラザで実施したところ、好評だったが、現在は事業が終了してしまった。 高浜人權プラザには、お年寄りのサークルが沢山あるので、その中へ若い母親たちが入れる企画を作れば、費用をあまり掛けずに交流の場ができると思う。	<b>【意見】</b>

## 第2回吉井地域審議会

### 第5次総合計画前期実施計画に係る質疑

事業名	No.	質疑	回答
吉井地域総合福祉センター建設事業	1	総合福祉センターの建設事業の説明のなかで、埋蔵文化財の遺構が発見されたので平成23年度に調査をするという説明があったが、どこに何があったのか、また、何時ごろのものか、分かっている範囲で教えていただきたい。	こはぎの建物の前、真中から西側10mくらいの部分、そこに柱と見られる部分の跡が一つ、ほかに田あるいは畑の古い堀の跡があったが、幅1.5メートルしか掘っていないので、平成23年度に調査をしたい。 学校があった関係で建物に近い方は、ゴミを埋めたのか、火事の際の残骸を埋めたのか、かなり壊されていて部分的にしか出なかった。また、「こはぎ」の建物から南側の「児童デイ」の建物の近くを掘ってみたが、そちらからは特になにも出なかった。年代的にはいろいろあり、出てきた破片等から平安時代くらいから江戸時代くらいのものがいくつか出ている。
吉井地域活動支援センター・重度心身障害者デイサービスセンター(仮称)建設事業	1	事業全体は順調に進んでいるが、運営主体、事業主体はどこになるのかお聞きしたい。従来どおり社会福祉協議会となるのか、独立採算性を目指しておこなうのか、平成24年度から体制を整えていかなければならないと思うが、どのような考え方をすればよいか伺いたい。	新しい障害者施設の今後の運営の主体については、今後支所及び地元の関係者の方々と協議をし、決めていくことになる。
	2	設計図の検討の仲間に入り、10月末に建物の設計図が一応固まったが、建物の材質について、鉄筋を主体としたものなのか、木造を主体としたものなのか伺いたい。	現在、設計事務所で、使用する人にとって優しく、また基本構想の中には地場産材の使用を考慮することとなっていたため、建設費等も含めて比較設計をして検討するという事で作業をしている。検討結果が出た段階で、そういった内容について関係者に説明をしたいということで準備を進めている。
多胡郡建郡1300年記念事業	1	市制110周年記念事業として実施されるということで、著名な先生方をシンポジウムの登壇者として依頼できたとのことで、かなり専門的なシンポジウムになるのではと思っているが、音楽センターにどのくらいの参加者があるのか心配している。 音楽センターを会場としたシンポジウムに参加者が少ないと、登壇者にも失礼になってしまう。多胡碑の研究者や興味をもっている人がどのくらいいるのかわからないが、入場者数をどの程度になると思われるのかお聞きしたい。	シンポジウムは音楽センターで行うが、音楽センターには1,800席程度入場できる。専門的・学術的すぎる内容だと、1,000人の参加者を集めることも難しいが、登壇者と打合せを行ったところ、一般の市民を対象にわかりやすい内容で行うということを了承いただいた。 より多くの参加者があるよう、市を挙げてやっていただきたいという登壇者の要望もあったので、今後PR活動を推進していきたい。

事業名	No.	質疑	回答
多胡郡建郡1300年記念事業	2	この事業の実施を通して「特別史跡」の真の意義というものを周知徹底してほしい。国宝のほうが「特別史跡」より上位概念であるという誤解が一般的にあるようだが、「特別史跡」と「国宝」は分野が違うだけで、国宝と同一のものであって、稀少性からいえば、「特別史跡」のほうが圧倒的に数は少ない。そこで、「特別史跡」の真の意義というものを、吉井地区住民に、そして市民に周知徹底していただくようお願いしたい。	「特別史跡」と「国宝」の関係については、「特別史跡」が高崎に3か所、金井沢碑、山の上碑、多胡碑である。「特別史跡」が3か所もある市町村は、全国に5市町村しかないため、このことを全国的にPRしていきたい。 また、登壇者の方には、シンポジウムの中で多胡碑の「特別史跡」としての価値を話していただけるものと期待している。
	3	吉井地域に住む幼稚園児とか子どもたちが、今回の記念事業に参加できるような企画があれば教えていただきたい。	今回の1300年記念事業では、幼稚園児等が参加するという具体的な事業は予定していない。
	4	22年度事業内容のなかで特別展の開催とあるが、この特別展は多胡碑記念館で行うのか、あるいは、中央の高崎市内の施設で行うのか伺いたい。	支所に1300年記念事業のポスターが掲示されているが、多胡碑記念館で来年2月5日から3月13日まで開催する予定である。
	5	23年度の事業計画に、シンポジウム報告書刊行というのがある。文化財保護関係事業や発掘調査も同じであると思うが、報告書が発行されると全部終わりになってしまう。3年間で1300年記念事業は終わってしまうのか、それとも3年後どうなるのか。多胡碑のみならず、市の文化保護行政のはっきりとした方針があれば伺いたい。	1300年記念事業については、来年が1300年という特別な年になるので、21年度、22年度、23年度のなかで記念事業として現在進めているので、シンポジウムの報告書をもってこの記念事業については終了する。 多胡碑は周辺に郡衙跡があるのではないかとされているので、今後調査をしていくということで、文化財保護課としては進めていきたい。
吉井中央公園(仮称)整備事業	1	吉井中央公園構想について、住民アンケートが平成23年度に予定されているが、アンケート調査等を実施する場合は、後期実施計画になる新町公園構想も含めたアンケートにしていただきたい。 中央公園構想のためのアンケート等実施したが、結局だめだったということになり、見通しがつかないということが仮にあったとすれば、中央公園構想を後期へ送るためだけのアンケートになってしまう。そうした懸念があるので、住民アンケートを行う際には、新町公園構想との関連を絡め、住民が判断できるアンケートにしていただきたい。	公園を作っていく場合には、その場所についてのことも当然だが、地域全体の考え方というものもアンケートに入ってくるとされる。 新町公園事業も重点事業として入っているの、そういったものも含めてアンケートすることは自然な流れと思われ、どういった内容のアンケートを、どのように実施するか白紙の状態なので、いまここで簡単に答えることはできないので、ある程度まとまった段階で、報告をさせていただき、ご意見を伺いたい。

事業名	No.	質疑	回答
吉井中央公園(仮称)整備事業	2	<p>22年度の事業内容について、「事前調査検討(進入道路・農振農用地等)」とあるが、5.9haのうち農振農用地がどのくらいあるか伺いたい。</p> <p>また、23年度に「住民アンケート・地域審議会の意見等の調整及びまとめ」とあるが、前期の計画で決定しているため、住民アンケートを行うということは、中央公園整備事業のなかに住民の声、地域審議会の意見を取り入れるという解釈でよいか。</p>	<p>22年度の事業内容での進入道路及び農振農用地関係については、中央公園の整備箇所は、おおよそ下長根の地域ということで、現在、農政部、建設部と協議をして、5.9haをどのような形で取っていくかという検討を進めている状況であるためご理解いただきたい。</p> <p>また、23年度の住民アンケート、地域審議会の意見等については、アンケートをとった結果について地域審議会等に報告し、どのようなものを設置していくかという問題についても協議したいと考えている。</p>
森林広葉樹林化推進事業	1	<p>市有林の整備も必要だと思うが、「里山」の復活構想について考えていただきたい。山林が竹藪やつる草で荒れ果て、所有者も高齢化し手が入れられない状態になっているので、ボランティア等を募って、あまりお金のかからないやり方でなにかできる方法を考えていただきたい。</p> <p>近くの山が荒れ果ててしまと、猪や熊が出没するようになり、愛郷心の喪失に向かうことにもなりかねないので、里山の整備をお願いしたい。</p>	<p>質問のとおり、里山が荒れてきているのが現状ではあるが、岩平地区では地域ぐるみで里山の復活ということに実際に活動されており、そのような活動を推進していきたいと考えている。</p>
水道水安定供給構想推進事業	1	<p>南陽台の水道管の清掃を行ったと聞いたが、どのような方法で行ったのか。また、合併後、水をおいしくするための活動や事業等が進んでいるとういことであれば教えてほしい。</p>	<p>今年の5月から8月上旬の間、南陽台地区を9区画に分け、水道管洗浄を実施し水質の向上に努める作業を行った。</p> <p>また、合併して水質の向上をはかるための事業をしているか、ということについては、ハード事業としては石綿セメント管の布設替を実施しており、ソフト事業としては吉井地域を含め、より一層の水質の向上についてどのように進めたらよいか現在検討しているところである。</p>
	2	<p>南陽台では、茶色の水が流れたりとか、異臭がしたりということが、18年前くらいからあったが、議員の要望で、定期的に給水塔も含めた水道管の清掃をしてもらい、だいぶ水質がよくなったという話を聞いている。</p> <p>高崎と合併し、よくなったというご意見があったが、実際は住民からの苦情により清掃等が行われるようになったと思っている。</p>	<p>南陽台で9回実施した水道管の清掃は、吉井町時代には行ったことのない作業であり、合併後、調査をして初めて行った。また、給水塔の清掃については、吉井町時代から清掃していた。給水塔と水道管の清掃とは別のことなので分けて考えていただきたい。</p> <p>吉井地域については、水質は厚生労働省の水質基準をすべてクリアしている。また、「うまい」「まずい」の判断は非常に難しい。</p> <p>吉井地域の場合は多少原水水質が悪くても、活性炭を使用し、国が定める高度浄水処理を行っているため、水質とすれば、よいまの飲料水であると考えている。</p>



事業名	No.	質疑	回答
水道水安定供給構想推進事業			<p>(前頁の続き)</p> <p>ただ、住民の方がそのような意識を持っているとすれば、吉井上下水道事務所とも協議をし、管の清掃や浄水場の処理方法等について検討し、安全な水を安定供給したい。</p>

### その他の質疑

質問内容	No.	質疑	回答
21年度決算の概要について	1	牛伏ドリームセンターはこの表をみると、平成21年度は黒字ということであるが、平成20年度までは赤字と聞いていたので、平成21年度は黒字になったという解釈でよいか。	<p>自治体の決算については、歳入を歳出が上回ることは通常考えられない。牛伏ドリームセンターの歳入歳出の決算の数字を見ると、一般会計からの繰入金を手当てしており、旧吉井町にあっても、ドリームセンターは、一般会計からの繰入金を手当てしていた。</p> <p>決算上は毎年黒字という形になっているが、一般会計で負担しているのが黒字になっているということをご理解いただきたい。</p>
	2	説明のなかで21年度の歳出で構成比13.8パーセントを占めている補助費等というのがあるが、これは20年度には149億4,004万円から21年度には212億3,810万円、42.2%増えたとうことは特別なことがあって増えたのだと思うが説明していただきたい。	<p>性質別の歳出の補助費等の大幅な増額の理由は、総務費が構成比で大きくのびているということを申し上げたように、ここでは金額では50億あまりの定額給付金の給付があり、これが補助費等に分類されているため21年度に補助費等が大幅に伸びた理由である。</p>
	3	一般会計の予算額1,595億5,838万円という、この予算額というのは歳入に対しての予算額なのか歳出に対しての予算額なのか。	<p>予算の場合は歳入と歳出同額で予算は作成するので、歳入歳出はイコールである。</p>